



震災をきっかけに気づいたこと

国語科担当 中熊 和典

地震から1ヵ月あつという間でした。被害に遭われた皆様、心よりお見舞い申し上げます。

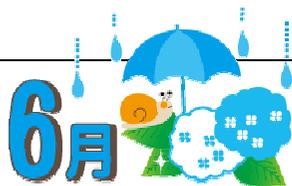
自宅の前の小学校が避難所だったので、時間を作っては避難所の手伝いをしてきました。地震の直後はみなさん必死で殺伐としていた避難所でした。水も食料も十分でなく、みんな生きるのに一生懸命でした。そんな避難所の雰囲気が変わった瞬間がありました。食事を配る準備をしていたとき、ボランティアリーダーの方が「人手が足りないの、どなたかお手伝いしていただけませんか？」と訴えたとき、多くの人が手を挙げてくださいました。それまで支援してもらう側だった人たちの中から、支援をする人が出てきたときに「みんなで一緒にのりきりましょう！」のような一体感が生まれてきました。それまで

起きていたちょっとした揉めごとなども格段に減りました。助ける側、助けてもらう側の役割を固定しない関係が、その場の一体感を生んだように思います。自分も誰かの役に立つことで、厳しい状況の中でも少し救われている気持ちになりました。

今回の地震で自分の周りでは「たまたま助かった。」「たまたま運が良かった。」という人が「たまたま運が悪かった。」という人よりも多かったように思います。生徒に聞いてみてもそんな感じでした。授業中にも話したことです、自分は運が良いと運が悪いのは、5分5分ではない気がしてきました。なにごともない普段の生活の中でも、たくさんの「運が良い」に囲まれているのだと思います。

こうして無事に生きていることに感謝して毎日を過ごしたいと思います。





日	曜	
1	水	
2	木	
3	金	[高校/受験科]マーク模試
4	土	[高校/受験科]マーク模試 カウンセリング(14時～、15時～)
5	日	
6	月	
7	火	
8	水	
9	木	
10	金	[高校]総合学習・落語 / 英語検定
11	土	
12	日	
13	月	
14	火	
15	水	
16	木	
17	金	[高校]総合学習・玉井先生の特別授業 / 漢字検定
18	土	[高校]オープンスクール(14時～) カウンセリング(14時～、15時～)
19	日	
20	月	
21	火	[受験科]二者面談
22	水	[受験科]二者面談
23	木	[受験科]二者面談
24	金	
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	

【高等学院】

■ 総合学習 : 12時40分～(6F)

6月10日(金):落語

1月に予定していましたが、『落語』がいよいよ志成館で体験できます。座布団持参で参加してもいいですよ。

6月17日(金):玉井先生の特別授業
日本航空高校より、玉井副校長先生をお招きして、特別授業を行います。

■ 検定試験

6月は英語検定、漢字検定試験が行われます。各自の目標の合格を目指して、頑張ってください。

【大学受験科】

■ 6月3日(金)、4日(土)に進研マーク模試が行われます。

今年度の最初の模試です。緊張すると思いますが、来春に向けていい準備をしてください。

【高認受験科】

■ 平成28年度 第1回高認本試験は

8月3日(水)、4日(木)に行われます。

本試験まで、あと少しです。体調を崩さないよう気を付けてください。

【5月9日 学校再開】

熊本地震に伴い、4月15日（金）以降、休校になっておりましたが、今日から授業を再開しました。久しぶりに顔を合わせて、お互いに安心したり、友達と色々な話をして楽しく過ごしたり、久しぶりに勉強をしたりして、少しずつ地震の前の風景に戻ってきました



【サークル活動 ① ホラー上映会】

ホラー映画上映会を行いました。今回のタイトルは「さとりだよ」でした。内容は公衆電話から自分の携帯電話に13回電話をかけるとお化けの「さとりくん」が出てきて…、というものでした。生徒の怖がる姿を見た清田先生は部屋を真っ暗にして、クーラーで室温をガンガン下げて、万全の体制でホラー上映会に臨みました。しかし、そんな清田先生に誤算がありました。それは、上映した映画「さとりだよ」自体が対して怖いものではなかったのです。さらに悪いことには生徒たちは参加した生徒の多くが元々、ホラーが好きで完全にホラー耐性がついていたのです！そうとは知らず、上映会に参加した清田先生。結果は、清田先生だけが怖がっているという滑稽な空間が生まれました。生徒は口々に、「映画は怖くなかったけど、清田先生が面白かった」と言っていました。生徒を怖がらせようという企みは無残に粉碎されましたが、生徒はきちんと楽しませるという清田先生のエンターテイナーぶりには脱帽ものなサークル活動でした。めでたし、めでたし。

【5月11日 体育】

11日はこれからの体育は何をしていくかの話し合いを行いました。現在、震災の影響で一時的に市立体育館や近隣の公園が使えません。そのため、それらの施設等が使用可能になるまでに何をしようかというところで悩みました。結果、一時的に「わかヨガ&ダイエット教室」や「ラダー・トレーニングを利用したゲーム」などを行うこと、それ以外はやりながら新しいことを考えていこうということになりました。ヨガの方がグダグダにならないように授業までに隠れて練習を行う必要があります。会議の後は風船卓球を行いました。なかなか思うとおりに風船にあたふたしながらも楽しい時間を過ごすことができました。



【5月18日体育】

18日の体育はヨガを取り入れたダイエット・エクササイズを行いました。Youtubeで見たものを見よう見真似で行いました。生徒たちは変なポーズに笑いながらも一緒にエクササイズ。案外、同じ姿勢を保つのが難しかったです。それでも、それぞれの生徒が気持ちよく汗をかくことができました。家に帰って、寝るまでがダイエット教室ですが、運動した以上に食べたなら元も子もありません。夕飯の量は大丈夫だったでしょうか？



【サークル活動 ② ゲーム会】

男子はテレビゲーム（プレステ2）、女子はUNOを行いました。懐かしのプレステ2では、昭和生まれの先生が現役時代を思い出して生徒達以上に楽しんでました。女子のUNOでは、珍プレーの続出に笑いが絶えない時間を過ごすことができました。

このページでは各学年ごとに、生徒の活動等の紹介をしたいと思います。今回は3年生です。

〈 震災を通して感じたこと 〉

- ・(地震が)夢かと思った。 ・お父さんのかっこよさがわかった。 ・水は偉大なあと思った。
- ・県外の知り合いが電話をくれて嬉しかった。 ・熊本以外の部外者が騒いで迷惑だった。
- ・中高生がボランティアをしている姿を見て元気が出た。 ・災害への備えは大事だと思った。
- ・地域との助け合いが大事だと思った。 ・エアコンが落ちてくる夢を見て、怖かった。
- ・避難所のお年寄りがきつそうだった。 ・命、家族の大切さがわかった。
- ・地域の人たちのやさしさがわかった。 ・被災地の中でも被害の大きさが違うのを感じた。
- ・耐震設備の大切さ、マンション等の危なさを実感した。 ・死を覚悟した。
- ・当たり前の生活がどんなに幸せなことなのかがわかった。
- ・震災は2回目だったこと、八代に住んでいたこともあったのでそこまで怖くなかった。
- ・ゲームばかりしていた避難所の子供達は、一緒に遊ぶと喜んだので、ストレスが溜まっていたんだなと感じた。 ・同級生が自衛隊の給水の作業の手伝いをしていたけど、その時は手伝えなくてもどかしかった。(後に食糧配給手伝いをしてくれたそうです。)

〈 生徒が参加した震災のボランティア 〉

八代災害ボランティア

クママン漫画ミュージアム整理

クママン漫画ミュージアム漫画搬入作業

無農薬自然栽培農家草取り作業

桜木中学校、食糧配給手伝い